

祝・40周年!

大濠公園能楽堂



県営大濠公園の一角に佇む「大濠公園能楽堂」。昭和61年の開館から、今年で40周年を迎えました。日本の伝統文化を身近に感じられるこの場所で、いつもと違う特別なひとときを過ごしてみませんか？



大濠公園能楽堂

客席562席を備えた日本有数の能楽堂として、能楽の公演はもちろん、落語やコンサートなど多彩な催しを開催。伝統芸能をはじめとする文化の魅力を、長年にわたり多くの皆さまに伝えてきました。

大濠公園能楽堂の楽しみ方

1. 息遣いまで伝わる！迫力の舞台

開放的な舞台は、演者の息遣いや熱気が客席まで直接届きます。最前列でなくても、その臨場感は圧巻です。

2. 座る場所で変わる、舞台の表情

正面席はもちろん、正面左側の通路「橋掛り」沿いの脇正面席もおすすめ。座る場所が変われば、舞台の表情や見える景色も劇的に変わります。

3. 松を眺めて縁起良く

舞台後方の松は神仏の象徴。この場所ならではの神聖な雰囲気を感じることができます。



Q

「能楽」って何？

室町時代(14世紀)に生まれた「能」と「狂言」。この二つを合わせた呼び名が「能楽」です。対照的な二つの世界は、長い歴史の中で私たちの心に人間ドラマを映し出し続けています。



写真提供：前島写真店

「能」の魅力

面をつけて神話を舞う、幻想的な「能」。研ぎ澄まされた静寂が、神秘的な「幽玄」の世界を作り出します。面の下にある演者の感情と、観客の想像力が重なった瞬間、舞台の上で現実と異界が交差します。この深い美しさに、心ゆくまで浸ってみませんか。

「狂言」の魅力

庶民の日常をユーモアたっぷりに描く「狂言」。人間味あふれる登場人物たちの会話は、時代を超えても共感できる面白さがあります。人間の弱さや愛おしさを肯定する、洗練された笑いをぜひ体験してください。



写真提供：萬狂言

人間国宝 野村万作さんからお祝いのコメントが届いています！

大濠公園能楽堂開館40周年、誠におめでとう存じます。毎回能楽堂で開催している私の狂言会(ふくおか「万作の会」)も40回の節目と、ちょうど一致します。能楽堂ができるまではほとんど狂言をやることがなかった福岡で、40年も会を続けてこられました。まさに能楽堂あつての狂言会であり、能舞台だからこそ「釣狐」「金岡」など大曲も上演し、狂言の幅の広さをお見せできていると思います。狂言会は毎年企画・運営いただいているノマ企画のご尽力のもと、活動を支援してくださっている有志の方々をはじめ福岡の皆さまの多大なご協力のおかげで続けていくことができました。今後も大濠公園能楽堂で狂言をお楽しみいただければ幸いです。

野村 万作



野村 万作さん

狂言師、人間国宝。1931年生まれ(95歳)、東京都出身。大濠公園能楽堂の開館を機に1988年、ふくおか「万作の会」を発足。以来、毎年の正月公演を通じ、40年にわたり卓越した至芸で観客を魅了し続け、福岡の能楽文化振興に多大な貢献を果たしている。